

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度	令和6年度		
事業番号	102	事業名	高齢者配食サービス事業		担当課	長寿課		
			(中事業名) 高齢者配食サービス事業		予算区分（款-項-目-中事業）	3-2-2-2 高齢者配食サービス事業		
総合計画	基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	27	～	
	政策	3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進						
	施策	(2) 介護予防の推進						
	その他	開始年度	平成16年度					
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可	
		根拠法令等	長久手市高齢者配食サービス事業実施要綱					
	関連計画	第9期高齢者福祉・介護保険事業計画						
I 基本情報	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）	アウトカム（詳細はⅢへ）				
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 10756 【事業内容】 高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図る。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 配食サービス利用者数【累計】 【その他の指標】	③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わらるのか) 配食サービスの提供による見守りで孤独死を減少、栄養状態の維持・改善を図る。 (成果指標名) 配食サービスを利用していたが、必要がなくなり中止にした人の割合	④最終成果 (大事業の将来像) 65歳以上の独居高齢者又は75歳以上ののみの世帯に対し（家族、介護サービスの見守りがない）、業者の見守り及び栄養状況の管理をし、住み慣れた地域で長く安心して暮らしていけるよう働きかける。			
	事業の概要・目的	大事業共通						

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名	単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度		
		1 【アクションプラン指標】 配食サービス利用者数【累計】	人	基準値	71	目標値	73	75	77	79		
				目標値	81	実績	90			81		
		2		基準値		目標値						
				目標値		実績						
		3		基準値		目標値						
				目標値		実績						
		4		基準値		目標値						
				目標値		実績						
		事業開始の背景		地域の実情に応じて、市町村の任意事業として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための事業を行う。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
エピソード	R6	業者の安否確認により、室内で倒れていた利用者に対して迅速な対応ができた（1件）。			R7							
	R8				R9							

III 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (C H E C K)	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標														
		配食サービスを利用していたが、必要がなくなり中止にした人の割合			年度	→	R5 年度	→	【現状】	R6 年度	→	R8 年度	→						
					0				21			21							
		成果達成状況								指標目標値の根拠									
		C	A.想定より良い B.想定どおり C.どちらともいえない D.想定を下回っている								フレイル・プレフレイル状態の方を把握し、早期発見、早期介入を行うことにより、自立した生活を長く送れるように介護予防事業全体を見直し、再編している。各事業を連携させるまでは、現状維持とする。								
	加える変化 (A C T I O N)	評価の理由、分析								お弁当を渡すことができなかった場合で本人または緊急連絡先に連絡が取れない場合は市に通報してもらうシステムになっており、実際に自宅内で倒れている高齢者を発見し、救出することができている。									
		今後の方向性				今後の方向性の理由													
		B	A.拡充 B.現状維持 C.縮小 D.廃止				令和6年度から制度を見直した。今後高齢者が増加していくことから、定期的に制度を見直していく。												
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)																	
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度						
1		配食サービスの対象要件		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	現在は、業者による見守りに重点を置いている。現在、介護予防事業全体の見直しを行っており、介護予防は「運動」「栄養」「口腔ケア」「社会参加」が重要である。 先進市町村及び近隣市町の配食サービスの目的及び要件を確認し、要件を精査していく。								R10						
2				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止															
3				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止															

